

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【公開番号】特開2013-44205(P2013-44205A)

【公開日】平成25年3月4日(2013.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-011

【出願番号】特願2011-184114(P2011-184114)

【国際特許分類】

E 0 4 B 9/16 (2006.01)

【F I】

E 0 4 B 5/55 M

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月12日(2014.8.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記の如き問題点を一掃すべく創案されたものであって、天井下地における野縁受けに固定された野縁固定金具を介して、野縁を、その逆U字状溝内に挿入される野縁支持受け部によって支持受けするものでありながら、地震等の揺れを受けて、野縁支持受け部が上下方向に振動を受けた際に、野縁支持受け部の野縁の逆U字状溝に対する振動負荷を受け止めるだけでなく、下側方向（野縁の逆U字状溝から離間する方向）への振動を規制し、野縁と野縁受けとの間のガタツキや野縁固定金具などの位置ズレを防止することのできる野縁固定金具の耐震補強部材を提供することを目的とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記のように構成したことにより、野縁受けに固定された野縁固定金具を介して、野縁をその逆U字状溝内に挿入される野縁支持受け部によって支持受けするものでありながら、野縁支持受け部は、野縁被嵌部の上面片を野縁受け取付け部に当接させ、傾動規制部によってしっかりと覆い隠した状態で取り付けすることができるので、地震等の揺れを受けて、野縁支持受け部が上下方向に振動を受けた際に、野縁支持受け部の立上り上端部が野縁の逆U字状溝に集中して上動圧接するような振動負荷を、野縁被嵌部で受け止めて分散することができ、逆U字状溝の変形や野縁の拡開を防止することができるだけでなく、野縁の逆U字状溝から離間するような下側方向への振動を、傾動規制部によって野縁支持受け部の平面部を受け止めて規制し、野縁と野縁受けとの間のガタツキの発生や野縁固定金具などの位置ズレを防止することができ、野縁固定金具に対する耐震強度を向上させる補強作業が容易に行えると共に、野縁支持受け部の両側上端が逆U字状溝へ密着した良好な状態を恒久的に保持することができ、天井下地全体の耐震性を向上させて構造的品質特性の維持に寄与することができる。しかも、野縁被嵌部の両端部を、野縁支持受け部の下面域となる野縁の両側面部でビス固定するので、固定ビス自体を傾動規制部と共に、野縁の逆U字状溝部分における野縁支持受け部の下動規制に寄与し得て、更なるガタツキや位置ズレの発生を防止することが可能となる。